授業づくり研修講座　実践レポート

座間市立入谷小学校　　氏名　　東浜　一志

第１学年

実践のポイント（工夫）

1. 国語科以外での「書く」経験を積ませる。
2. 「伝えたい」とうい児童の意欲を高められるような題材の工夫。

実践内容①（成果）

　ひらがなを学習し終えたばかりの２学期より、国語科以外での「書く」活動を増やして継続的に取り組んでいる。なるべく１学年の「伝えたい」という想いを大切に、書くことに取り組んでいった。初めは１、２文だったが、今ではそれ以上の文量を書ける児童が増えた。書くことを習慣化することによって、抵抗なく取り組める児童が増えた。また、書いたものをなるべく発表させる時間を設け学級全体で共有した。そのことで、友だちの良い言葉選びを真似し、表現の幅が広がった児童もいる。さらに、書いて伝えたものが友だちに認めてもらえた喜びを感じている児童が多い。

　取り組みとして、「行事での振り返り文」は、学級通信にも載せ、書いたことを保護者とも共有している。子どもたちからは「やった～僕が書いた分が載っている！」と嬉しそうである。「おりがみお手紙」では、お休みの子に「大丈夫？」の手紙を送るシンプルなものだが、児童が書き手、読み手にもなるので、どんな文章や言葉選びをしたら気持ちが良いか、よく考えながら書いている。

これからも継続し、伝えたいという想いを大切にした指導を行っていきたい。

＜継続して取り組んでいること＞

・お休みの児童へのおりがみ手紙　　　　　　　　　　・朝会や学年集会の１文振り返り

・生活科での観察日記やおもちゃの説明書　　　　　　・「先生、あのね日記」

・夏休みの思い出　　　　　　　　　　　　　　　　　・運動会頑張りたいこと、見てほしいところ

・「いいとこみつけ」　　　　　　　　　　　　　　　・学級会でのメモ取り

・図工や音楽での鑑賞（図工は、友だちのシートに記入する方式）

・行事後の「感じたこと」「学んだこと」の振り返り　　　　　　　　　　　　など

実践内容②（成果）

単元（題材）名　　「よくみて　かこう（みのまわりのいきもの）」

　１学期に「かいてつたえよう」の単元で、誰かに何かを伝える楽しさや喜びを経験している。今回、教室で飼い親しんでいる金魚のひみつやかわいさを、家族に紹介するという目的を持たせた。

1. 形・色・大きさ・動きなどを詳しく見る（事実）
2. 詳しく見て感じたこと考えたこと思ったことを待たせる（気持ち）
3. 事実と気持ちを文章にしてより伝わりやすいように紹介する（書く）
4. 感想（評価）をもらう（振り返り）

以上の書くことを通して、児童自身が「詳しい文章が書けるようになった」「書いてよかった」と実感できるように、計画を立てた。

一部指導内容例「生き物の動きをよく観察し、メモをする。」

（２）展開

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 過程 | 学習活動 | 指導上の留意点 | 評価（観点・場面・方法） |
| 導  入 | 1. 前時までの学習をふり返る。   ２、めあての確認する。 | ・お家の人に金魚のどんなところを知ってほしいのか。そのためには詳しく見る必要があることを押さえる  きんじろうの動きを詳しくメモしよう！ |  |
| 展  開 | 1. ジェスチャーあそび   ４、金魚の様子や動きをよく見て、ワークシートに書き入れる。  　　・口の動き  　　・目の動き  　　・泳ぎ方  　　・餌の食べ方　など  ５、様子や動きを見て自分の気持ちを書き入れる。  ６、発表し、共有する。 | ・「なぜわかった？」と問い、お題の動きに注目させることを重視し、展開につなげる。  ・実物投影機で、金魚をTV画面に映す。  ・机間指導で声掛けをする。  ・手がつかない児童には一文や単語等でも良いと声掛けする。それより支援の必要な児童には、会話形式で意見を引き出していく。  ・「～な動き（様子）で～と思いました」と定型を示しておく。  ・動きについて書いたことは、認め、おおいにほめるようにする。  ・友だちの発表を聞いて、付け加えたり、修正したりいいことにする。 | 関生き物をよく見て、様子や動きを詳しくメモしている。（観察・発言・ワークシート） |
| ま  と  め | ７、本時の学習を振り返る。 | ・次時はこれまで書いた４つの観点メモをもとに、文章を組み立てていくことを知らせる。 |  |

実践内容①と②の振り返り（課題）

　・「書く」機会を増やすことで、時間の配分や確保が難しいと感じた。

　・気持ちや想いをただ書かせるだけでなく、誤字脱字や正しい文の書き方もしっかり指導していきたい。